

令和6年7月1日～7月7日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和6年度第10報)

環境省大臣官房環境保健部企画課 熱中症対策室

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について(注1)

7月1日～7月7日の全国11都市(注2)の平均値を過去5年間(2019～2023年)の平均値と比較すると、7月1日を除き高く、7月3日から7日にかけては3程度高くなりました。

総務省消防庁の発表によると、11都道府県(注2)における熱中症による救急搬送人員(注3)の合計は、3,590人でした(図1)。

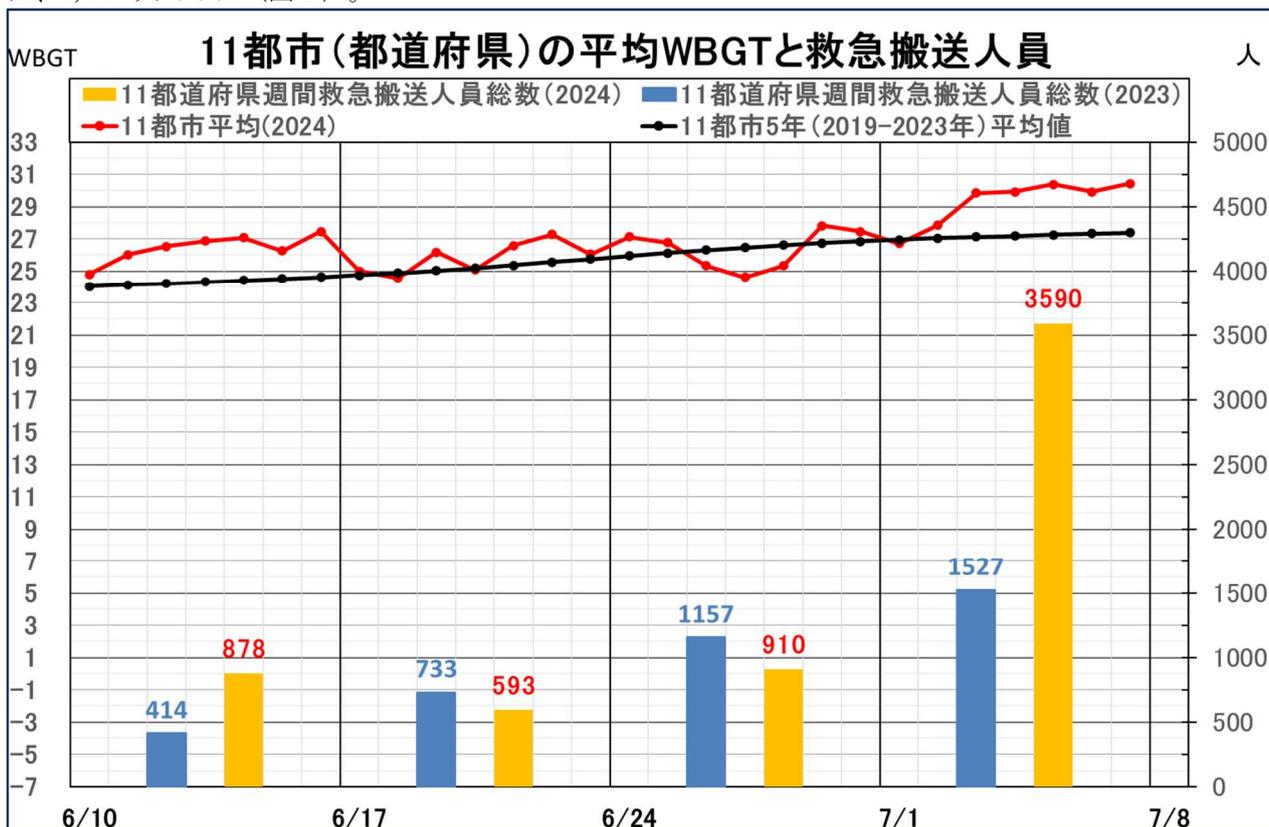


図1 全国11都市の平均日最高暑さ指数(WBGT)状況と救急搬送人員(11都道府県)の動向

表1 全国11都市の日最高暑さ指数(WBGT)(7月1日～7月7日)(注4)

日	札幌	仙台	東京	新潟	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
1	23	26	28	24	26	26	25	28	27	31	31
2	21	24	30	25	28	27	26	31	30	33	31
3	25	26	33	27	31	31	30	31	31	32	32
4	26	28	34	27	31	30	28	33	31	31	32
5	26	28	33	30	32	30	29	32	30	31	32
6	23	28	34	27	32	31	30	32	30	32	31
7	24	30	35	29	32	30	29	31	31	32	32

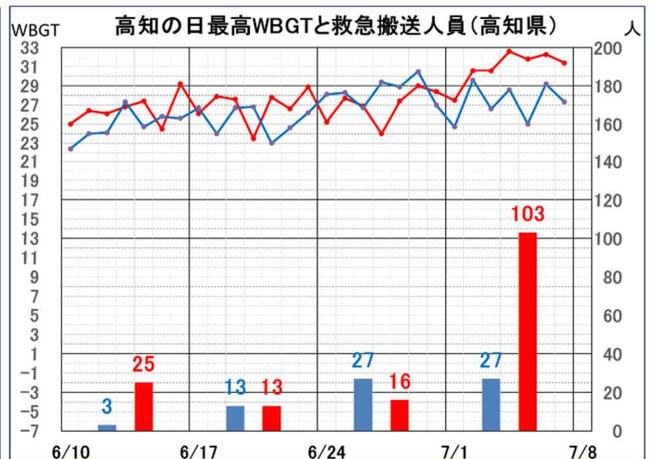
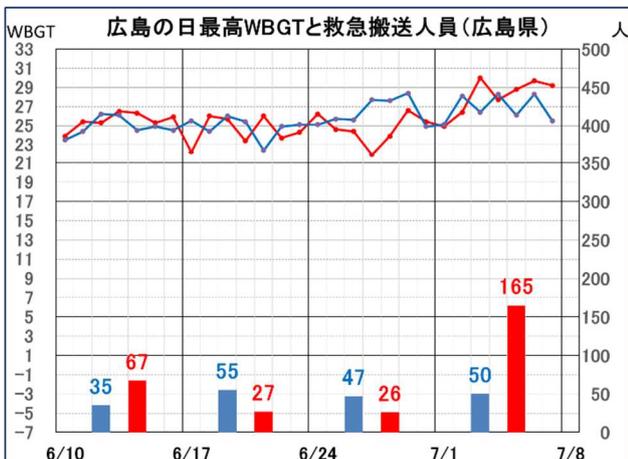
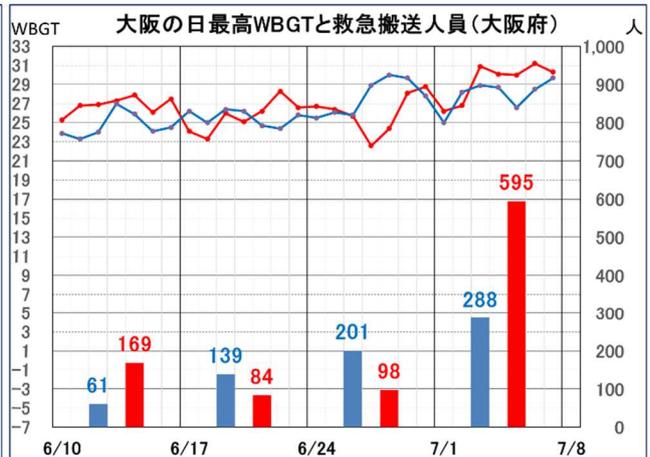
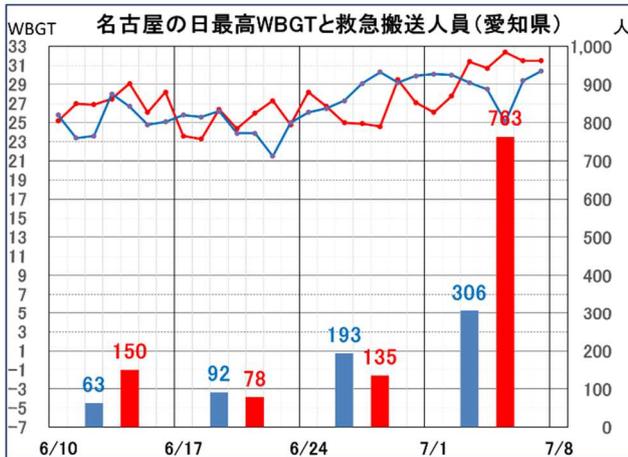
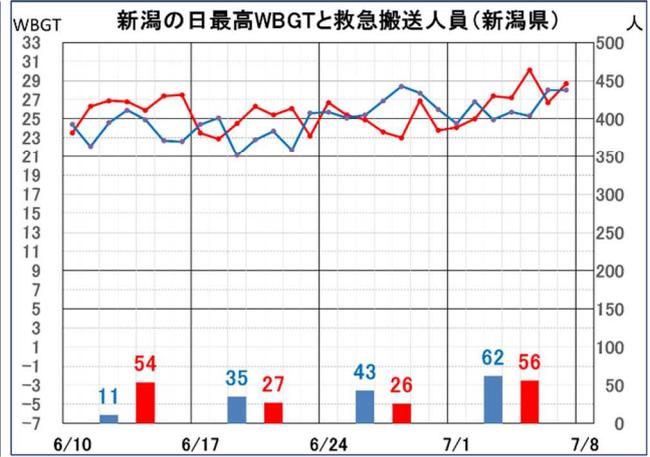
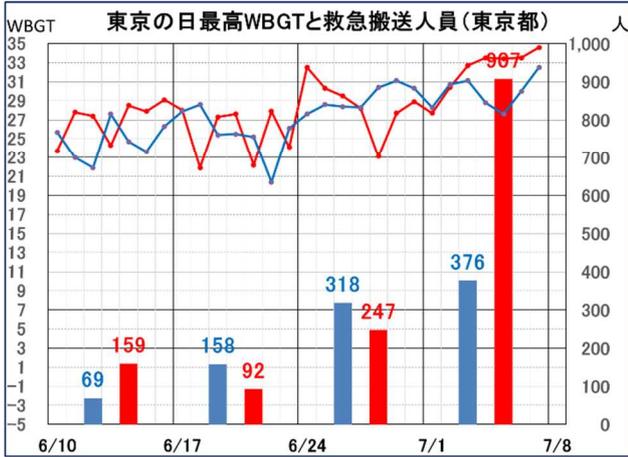
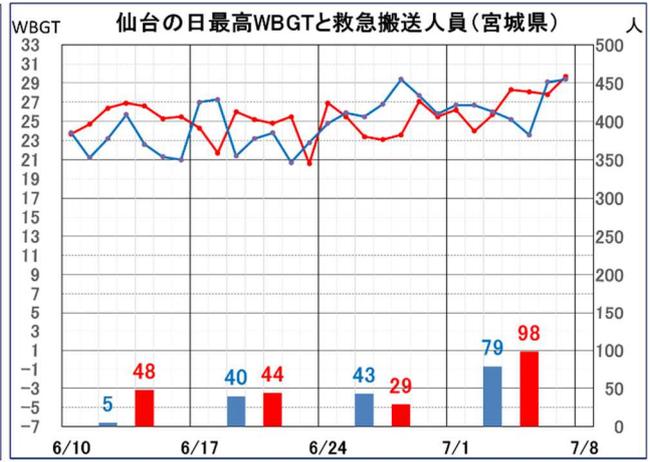
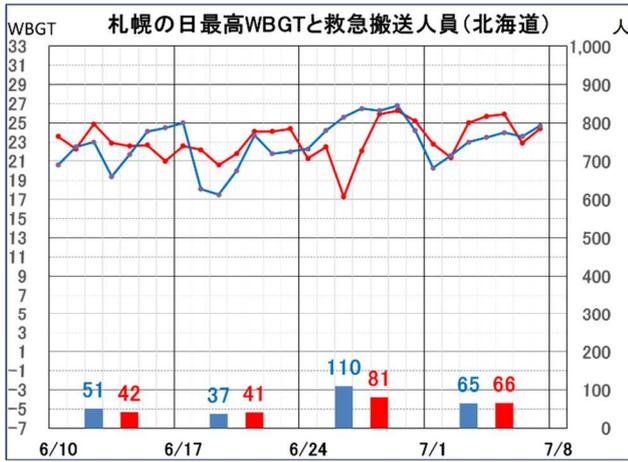
注1 本資料の暑さ指数(WBGT値)は速報値です。確定値とは異なる場合があります。

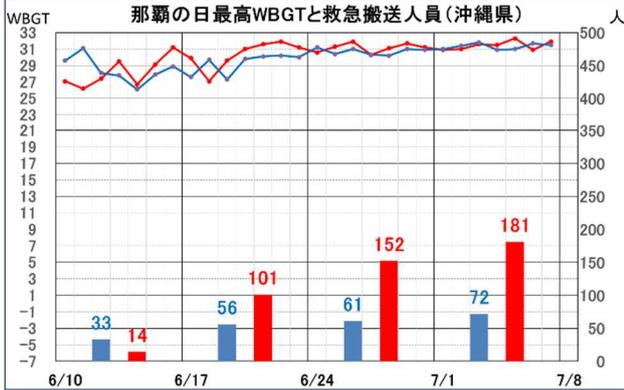
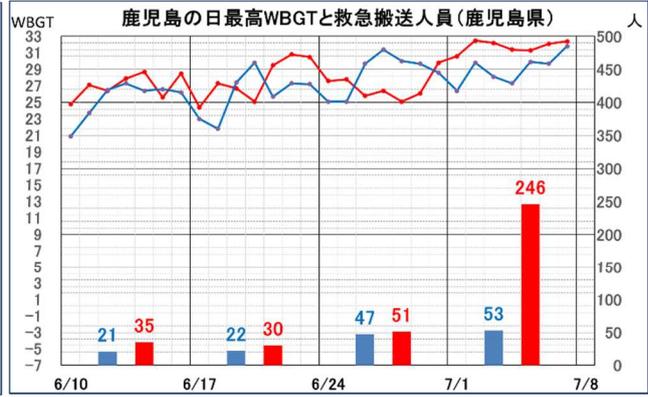
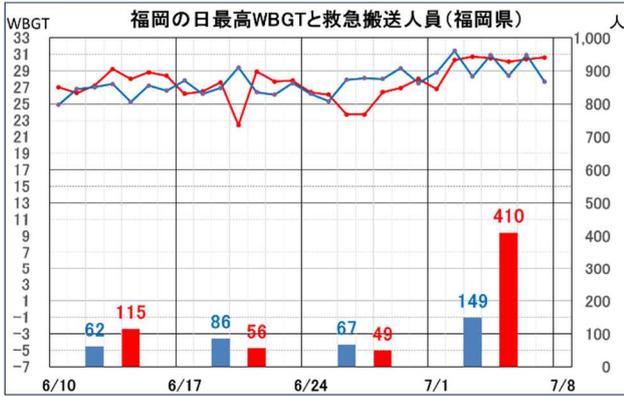
注2 本資料における全国11都市:札幌市、仙台市、東京・文京区、新潟市、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 総務省消防庁の発表資料を元に環境省で作成: <https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>

注4 東京・文京区においては、7月7日に暑さ指数の実況値が35に到達していますが、前日7月6日10時時点の予測では翌日7日の日最高値は32の予想であり、また都内他地点も35に達しない予想であったことから、東京都に対して熱中症特別警戒アラートは発表していません。

2. 全国 11 都市の日最高暑さ指数 (WBGT) と熱中症による救急搬送人員の状況





凡例

- 11 都市の
日最高 WBGT (折れ線)
青線: 2023 年データ
赤線: 2024 年データ
- 11 都道府県の
週間救急搬送人員 (縦棒)
青棒: 2023 年データ
赤棒: 2024 年データ

3. 全国の熱中症警戒アラート等の発表状況

直近4週間（6月10日～7月7日）の、全国（58の府県予報区等）における熱中症警戒アラートの延べ発表回数は以下のとおりです（表2）。なお、この期間において、熱中症特別警戒アラートの発表はありませんでした（注5）。

表2 全国の熱中症警戒アラートの発表状況（6月10日～7月7日）

	6/10～6/16	6/17～6/23	6/24～6/30	7/1～7/7
全国	4	12	27	124
(参考) 昨年	0 (2023/6/12～6/18)	4 (2023/6/19～6/25)	2 (2023/6/26～7/2)	2 (2023/6/26～7/2)

4. 今後の見通し

気象庁の2週間気温予報の概要は以下となっています。

(7月10日発表、予報期間7月11日～7月24日)

北日本	向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高く、16日頃からはかなり高い日が多い。
東日本、近畿地方、中国地方、四国地方、九州北部地方	向こう1週間程度は平年並の日が多いが、その後は暖かい空気に覆われやすいため高い。
九州南部、沖縄・奄美地方	向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため平年並か高く、かなり高い日が多い。

(参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>)